

第 12 回鎌倉市生活環境整備審議会 議事録（概要）

- 1 **開催日時** 平成 27 年 1 月 13 日（火）14 時 00 分から 15 時 10 分まで
- 2 **開催場所** 鎌倉市役所 第 3 分庁舎 講堂
- 3 **出席者** 横田会長、荒井副会長、大西委員、坂本委員、村田委員、安田委員
- 4 **事務局** 石井環境部部長、小池環境部次長、遠藤環境施設課課長、
近藤環境施設課課長補佐、齋藤環境施設課課長補佐、大宮環境センター担当課長補佐、
花田環境施設課環境施設担当
- 5 **傍聴者** 8 名
- 6 **協議内容**
鎌倉市ごみ焼却施設基本計画（案）について
(1) 「鎌倉市ごみ焼却施設用地検討部会における検討結果」について
(2) 「災害対策」について
(3) その他
- 7 **配付資料**
(1) 資料 1 「鎌倉市ごみ焼却施設用地検討部会における検討結果」
(2) 資料 2 「意見の聴取会等における主な意見について」
(3) 資料 3 「鎌倉市ごみ焼却施設基本計画目次（案）」
(4) 資料 4 「第 8 章災害対策」

8 会議の概要

主な質疑応答等の内容は次のとおりです。

開会	小池次長
配布資料の確認	遠藤課長

横田会長

配布された議事録は、第 11 回鎌倉市生活環境整備審議会の議事録である。配布された内容でよろしいか。

（了承）

特に意見がないようなので、議事録を確定とする。事務局は鎌倉市のホームページへの掲載をお願いしたい。

それでは本日の協議に入る。事務局から説明をお願いする。

遠藤課長

これまで検討してきた鎌倉市ごみ焼却施設用地検討部会において検討した結果が、「鎌倉市ごみ焼却施設用地検討部会における検討結果報告書」としてまとまったので、荒井部会長から説明をお願いする。

荒井副会長（部会長）

資料1「鎌倉市ごみ焼却施設用地検討部会における検討結果報告書」を基に説明を行った。

遠藤課長

意見聴取会における市民からの意見について、資料2「意見の聴取会等における主な意見について」を基に説明を行った。

横田会長

ご感想、ご意見等があればお願いしたい。

大西委員

この報告書の見方を教えて欲しい。この報告書では4候補地の過去と今、将来どうなるかということをつき合わせて、おそらく「負の側面」で評価されたのだと思われるが、P8のコンセプトには、地域に便益がもたらされる要素についても言及されている。こういった要素でも各候補地の比較検討を行ったのか、それとも、このような要素は各候補地に一律のものとして考え、具体的な評価には至っていないのか。

横田会長

ベネフィットに関する要素について、候補地毎の整理はされたのかという意見であるが、どうか。

荒井副会長（部会長）

どの候補地となった場合にも、P8の5つのコンセプトを一定以上満たした施設を造り上げることができると考え、各候補地の制約条件を中心に整理している。

横田会長

他に意見があればお願いしたい。各地域の連絡協議会等から、うちの土地に来て欲しいという意見はなかったか。

遠藤課長

今のところない。

横田会長

最近のごみ焼却施設を見て「このような立派な施設であれば、ぜひうちの地域に来てもらいたい」という感想を述べられる自治体もある。イメージというものは時代とともに変わってくるものであり、そうなることが私の理想である。

大西委員

資料2について、「ランドマーク的な施設にしてください」や、「熱資源の利用を前面に出して

ほしい」という意見がある。また、「現実的に説明してほしい」という意見は、もう少し具体的に、便益があることを分かりやすく説明してほしいということだと思われる。そういった「情報を知りたい」というニーズが強くなるのではないかと。まだ具体的な提案はしていないのか。

遠藤課長

現段階では他市の事例を示しながら可能性の話をしている。外観や環境面の問題等、他市の事例の話はさせていただいた。具体的なことについては、今後、行政側としても他部と調整を図りながらイメージ感をもって臨んでいきたい。

横田会長

この報告書については次回の本審議会でも意見をいただきたいと考えているので、じっくりご確認いただきたい。

横田会長

災害対策について、事務局から説明をお願いしたい。

齊藤課長補佐

安全衛生管理について、資料3 「鎌倉市ごみ焼却施設基本計画目次（案）」及び資料4 「第8章災害対策」を基に説明を行った。

横田会長

事務局から鎌倉市ごみ焼却施設基本計画の章立てと災害対策についての説明があった。災害対策については、本日の用地検討部会からの報告も含めて検討する必要がある。意見があればお願いしたい。

大西委員

7章の環境計画の自然エネルギーについて、コンセプトとは別なのか。風力等ではなく、燃焼エネルギーのことなのか。

齋藤課長補佐

次回以降に協議いただきたいと考えている。各候補地の土地事情を踏まえ、燃焼エネルギーや風力等も含めて、エネルギーをどのように活用できるか、ご意見をいただきたいと考えている。章の流れ等は、今後事務局でも検討させていただいてご提示できればと考えている。

大西委員

緊急事態をどこまで想定するかという話もあるのか。

齋藤課長補佐

最近の他市の基本計画を見ると、防災対策で章を立てている市もある。鎌倉市はコンセプトで強靱化を掲げており、環境省でもそういったことを踏まえて施設を考えるようにとされている。

る。その中で、鎌倉市としてどこまで強靱化を行い、どこまでの範囲をこの基本計画の中で想定していけばよいかを、専門家である皆様からご意見をいただきたいと考えている。

大西委員

強靱性の部分について、国から出されているハザードマップもあるが、地震や津波は予測ができないので、過去の事例が整理されているのかが重要である。まずは事例の整理をしていただき、想定ストーリーが出来上がれば、ある程度絞れると思われる。水か土砂かという部分もあると思うが、津波の害と浸水の害では対策が全然違う。過去にどのような震災、天災があったのかを整理する必要がある。

齋藤課長補佐

コンセプトの検討の際にも、安田委員から過去のデータ等も含めて考えていくようにというご意見をいただいた。今回、大西委員からも同じ意見をいただいたので、次回以降、調査して情報提供させていただきたい。

荒井副会長

耐震構造について、用途係数が出ているが基準となるものを書く必要がある。「建築基準法における耐震基準」の1.25倍の強度を持たせるということなのか。それから、表7.7.1の「建築費構造物」は「建築非構造物」の間違いだと思われる。

村田委員

P3に「水の確保」とあるが、基本計画と防災拠点としての考え方をどのように組み合わせるのかをイメージができない。別の補助事業となるのではないか。

遠藤課長

現時点では、震災を例に挙げると、地震に強く、発電機や水、薬剤を備えておくことで、地震後すぐに焼却を再開でき、熱エネルギーを電気や温水として使えるような場所、拠点とすることを考えている。電気や温水を活用できる「一時避難所」のような施設にするということが国の施策や補助メニューにもあるので、最低限そういったことは考えていきたい。

荒井副会長

P5の対策案の表を見ていただきたい。防災拠点として整備する場合の具体的な取組みについて、平成25年度に環境省が報告書を出している。例えば、用水の確保として排ガス冷却水等用水槽の貯留日数を3日以上とすることや、防災用井戸水の検討等のスタンダードが示されている。その報告書の中で、「防災活動の支援」の項目に「避難場所としての活用」があり、地域防災計画に基づく避難場所とするかは検討を要するが、地域住民の避難所として整備する考え方が示されている。そのために必要な物資として、3日以上飲料水や食料を確保することとされているが、最近の新しい施設では下着等の日用品まで用意されていることもある。報告書に記載されている内容を詰めていけば、プラントとしての防災機能、耐震機能を持たせるとともに、防災拠点としての整備も進めることができる。こういった対策案を十分に取り入れた形で整備をしていく

という記載をすればよいと思う。

村田委員

防災担当部局との調整も必要になってくると思われる。4候補地とも、井戸を掘れば水は出るのだろうか。防災拠点ということであればかなりの水量が必要になるのではないかと。

遠藤課長

水が出る可能性はある。

村田委員

焼却炉が止まり、防災拠点としての機能だけが残る場合も考えられる。慎重に考える必要があるのではないかと。

荒井副会長

東日本大震災では、津波によって地下室が冠水し、再稼動ができなかったという例があり、現在は主要な電源施設は2階以上に置くというやり方が増えている。クレーンの脱輪防止対策をしている施設もある。具体的なことについては、今後詰めていく必要があり、どこまで防災拠点として求めるのかというコンセプトをしっかりと整理する必要がある。必要物資の確保も、3日分程度と書かれているが、最近では7日分用意している施設もある。

横田会長

量を決めておく話については、先ほど事務局からもこの審議会で決めてほしいということであった。今後、詰めていきたい。

安田委員

地震については4候補地に違いはないと思われるが、津波に関しては地形の影響を受ける。鎌倉市は関東大震災の際に浸水したという記録が残っているようなので、資料を集めていただきたい。

遠藤課長

津波に関してはハザードマップがあり、この4候補地の位置については、影響はなかったと記憶している。

安田委員

ハザードマップはどのくらい遡って調べられているのか。

遠藤課長

改めて確認する。

大西委員

地質学的な情報も必要と思われる。

横田会長

本日の意見も反映させて修正をお願いしたい。

次の「その他」について、説明をお願いしたい。

遠藤課長

今回は、用地検討部会の報告書についてのご意見を伺うことと、基本計画の第6章と第7章についての協議をお願いしたい。日程は1月下旬から2月上旬で調整させていただきたいと考えている。

横田会長

事務局で調整と準備をお願いしたい。

本日予定されていた議事はすべて終了した。これで第12回鎌倉市生活環境整備審議会を終了としたい。